

10月下旬  
11月上旬 爽やかな秋晴れの下...

問 学校教育課 ☎82-5221

10月20日(火)に開成小でスポーツデー、11月6日(金)に開成南小で体育集会が開催されました。

感染症拡大防止のため、学年ごとに開催時間を分ける等、例年の運動会とは異なりましたが、子どもたちは懸命に取り組んでいました。

開成小では、全校児童を元気づけるため、6年生の有志が校舎に向かって応援団のパフォーマンスを披露しました。



▲有志で披露した応援団(開成小)



◀人気のアニメキャラクターに扮する子どもたち

▼子育て支援センターでの1枚

10月末 開成駅前でハロウィンイベント

問 子育て健康課 ☎84-0327

地域で子育て支援活動をしている「ASOBI 隊」が、感染症対策のうえ、ハロウィンイベントを開催しました。新型コロナウイルスの早期収束を願い、駅前第二公園の街路樹に手作りのランタンを飾り付け、思い思いの仮装をして、特別な時間を楽しみました。

また、駅前子育て支援センターでは、ハロウィンウィークと題し、かわいいハロウィンの写真が撮影できるセットを準備するなどの催しが開かれました。



▲パークゴルフを楽しむ開成南小の児童ら

11月 思い出は、どこでもつくれる！

問 学校教育課 ☎82-5221

小学5年生の恒例行事であった林間学校が中止となり、町内小学校2校では、開成水辺スポーツ公園を使い、地域のスポーツ団体の協力によるレクリエーション行事を行いました。

パークゴルフ体験では、慣れないクラブさばきに苦労しながら、児童たちは和気あいあいとプレーしていました。

令和2年度宝くじ助成事業  
自治会の備品を整備しました

問 企画政策課協働推進担当 ☎84-0315

一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成金(宝くじ収益金)を活用し、自治会の備品整備を行いました。岡野、金井島、下延沢、榎本の4自治会では、冷蔵庫、ノートパソコン、テント、発電機など、活動に必要な合計80点の備品を整備することができました。

- 岡野自治会  
冷蔵庫、ワイヤレスアンプ、ワイヤレスマイク、ニカド蓄電池、収納カバー、全自動わた菓子機、エンジントリマー、掃除機、ラベルライター、ラミネーター
- 金井島自治会  
ノートパソコン、シュレッダー、折りたたみチェア、コピー機
- 下延沢自治会  
テント、ユニフォーム、ソフトボール用マスク、ソフトボール捕手用ヘルメット、ソフトボール用バット、サンストッカー、シュレッダー
- 榎本自治会  
物置、綿菓子機、発電機、LED パルーンライト、台車



あの記事は

今...!?

広報かいせいに掲載された記事のその後を、まちづくり情報特派員が追いかけて！

今月はまちづくり情報特派員の石塚が、広報かいせい2019年12月号の「特集 開成弥一芋」のその後に迫りました。

問 企画政策課 ☎84-0312

2019年12月号  
特集 開成弥一芋 を追っかけ！



まちづくり情報特派員 石塚 敦

コロナ禍で楽しみにしていたいくつもの町内のイベントが中止になり、今年もこのまま終わっちゃうのかな？…なんて思っているそこのあなた！おいしいお楽しみがありますよ。

昨年の広報かいせい12月号で手のひらに一杯の開成弥一芋(里芋)が写ったこのページ(※)を覚えていますか？広報で特集されたあの「開成弥一芋」は、生産者のたゆめぬ努力とゆるぎない自然の力が結集して、今年もすくすくと育ちました。10月には出荷され、店頭に並び、今まさに旬を迎えています。

写真の手のひらの主でもある、開成弥一芋研究会会長の武藤さんに今年の開成弥一芋の出来栄について、インタビューしました！



(※)広報かいせい2019年12月号の見開きページ

INTERVIEW



今年の生産量は雨や高温でやや減りましたが、味はいつも以上においしく感じます。今年も、250kg程を学校給食として、町の子どもたちに食べてもらいます。

新規参入の生産者も、食べてくださる方も年々増えています。開成町の特産品としてプライドを持って作っています！

開成弥一芋研究会会長  
むとう てるお  
武藤 輝夫さん(金井島)

武藤さんのおすすめの食べ方

●塩ゆでした後、手で皮をつるっとむいて、醤油を少し付けて食べます。小さいものはお酒のつまみとしても◎石塚特派員もイチオシの食べ方です！

●けんちん汁の具の主役としてどうぞ！お正月のお雑煮にも使ってみてください。

※昨年の広報かいせい12月号では、開成弥一芋の皮を簡単にむく方法もご紹介しています。上のQRコードからご覧ください！



小学校の給食に潜入！

給食では3回目の登場となった開成弥一芋。白くてねっとり甘く、子どもたちにも大人気です！



開成小学校  
わたなべ れいこ  
渡邊 玲子栄養技師

編集後記

想像してみてください。ゆでたてのほくほくした弥一芋が口の中でねっとりろける食感を。町の土と、降り注ぐ日の光を詰め込んだおいしさです。今年もあと1か月。旬の味を逃さないように、ぜひ食卓の一品に加えてみてはいかがでしょうか。

まちづくり情報特派員 石塚 敦

